

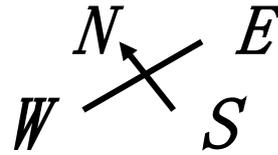
藤 沢

2021年5月1日

第324号

# エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議  
(略称) 藤沢エコネット



主  
な  
記  
事

- ・市民講座「気候危機は待ったなし！」
- ・環境審議会傍聴記 ・さくらマーチ
- ・「ふるさと津島」
- ・感染症の歴史とコロナ禍収束に向けて

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: [aoyagipc@jcom.home.ne.jp](mailto:aoyagipc@jcom.home.ne.jp) 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

## 平和憲法記念日 5月3日に寄せて

就任以来改憲にこだわり続け「20年には新憲法を施行する」とまで公言した安倍元首相の目論見は見事に破綻しました。2014年の集団的自衛権の行使容認、15年の安保法制の強行採決、さらに17年の5月3日の憲法記念日には9条の1項、2項はそのままに、3項に自衛隊を明記するという改憲案を発表。

しかしこの間「あべ9条改憲NO!」や「改憲発議反対」署名の全国的取り組みをはじめ私たち市民と野党の共同の闘いで彼の最大の政治目標「任期中の9条明文改憲」は押しとどめることができました。けれども、現実に目を向ければ、憲法9条を飛び越えて、日本が戦争する国になる可能性が高まりつつあります。

琉球弧といわれる奄美大島、宮古島、石垣島、与那国島にはミサイル基地をはじめ自衛隊の軍用施設が次々と建設され、米軍との共同訓練も実施されています。

先日訪米した菅首相はバイデン米大統領との会談で、日本の防衛力強化を伝え『日米両国は台湾海峡の平和と安定の重要性を強調する』との共同声明を発表しました。このことにより、台湾有事の際には、安保法制を適用して、自衛隊が米軍に軍事支援をしたり、沖縄の基地から米軍が発進する可能性が高くなり、沖縄が地理的にも軍事的にも対中国戦争の最前線に立たされることになりかねません。あの沖縄戦の悲劇の再来の恐怖と自分たちは日本国憲法の下にあらざと沖縄県民に言わせることのないように何としてもこの危険な中国敵視の政策は中止させ、平和外交により北東アジアの平和と共生を粘り強く求めていくことこそ平和憲法を持つ我が国の進む道ではないでしょうか。

元首相の置き土産の敵基地攻撃能力の保持に向け、護衛艦「いずも」の空母化やF35ステルス戦闘機大量配備などで軍事予算は増加を続け、昨年は5兆円を超えるに至りました。コロナ禍の中、市民は改憲や軍備増強など望んではいません。

「平和といのちと人権を！」今年の5月3日の国会正門前憲法集会のテーマこそ私たちの願いです。

(島田啓子)



花壇は春の花がいっぱい

## 気候危機は待ったなし！！

4月24日(土)市民講座が行われました。

第1部「自然の電気に切替え(パワーシフト)を」講師：廣瀬健二氏(環境活動家・藤沢市在住)

電気は誰のものか。2016年に電気が自由化された。東電は自然再生エネの会社も持っている。いろいろな会社を総称している。日本は自然エネの宝庫。ポテンシャルは自然再生エネだけで賄える。

パワーシフトをしよう。パンフを示し、7つのポイントが大事と指摘。東電のお客番号が分かれば5分で電力会社を変えられる→湘南電力などに電話をすればよい。自治体が行う「みい電」(みんなで一緒に自然の電気)などもある。今求められていることは、社会システムの変化であり、ライフスタイルが変わらなくても社会システムを変えること。長野県はロードマップを作っている。藤沢市は数値目標を決めること。

第2部「気候非常事態を考えよう」講師：宮地俊作氏  
なぜ危機なのか。異常気象が続くとこれまでの気候が戻りできない気温(ティッピングポイント)に迫っているから、パリ協定で世界の平均気温を2℃、できるだけ1.5℃未満に抑えることになった。この進行を止めるには、「脱炭素社会(CO2排出実質ゼロ)」へ転換すること。今年秋のCOP26の世界的な合意は、地球を守る、人類の命運の分かれ道になる。

二酸化炭素の排出を「実質ゼロ」を実現するには「炭素予算」という方法がある。「炭素予算」とは、例えば、我が家の家計で今月使えるお金(予算)は20万円、今までに12万円使ったから、残りは8万円というのと同じ考え方である。

2℃目標で2050年までに使えるCO2：日本で174億トンで、2050年までには実質ゼロにするには、2030年までに45%(2010年比)削減が必要！！

この度、菅首相が表明した46%削減(2013年比)では、2010年比にすると42%削減となり十分とはいえない。しかも、2050年に「実質ゼロ」になれば良いのではない。対策は早ければ早い程、効果が高く、遅ければそれだけコストがかかることになり負担は大きくなる。時間との勝負。

環境省の「地域脱炭素ロードマップ」では、最初の10年間がカギを握る、最初の5年に集中して政策を総動員し、既存技術でできる重点対策を全国で実施。先行モデルケースづくりを行い、全国でできるだけ多くの脱炭素ドミ

ノを起こす方針である。

藤沢市の計画見直しが始まり、環境基本計画、温暖化対策実行計画で、短期計画；2022～30年度、中期計画；～40年度、長期計画；～2050年度(実質ゼロ)をエヌエス環境(株)に委託(2,310万円)しているようである。どのような施策(案)ができるのか注目していきたい。

最後に、やがて技術的にも経済的にも脱炭素が可能だと誰もが思うようになり、CO2を出さずにエネルギーを作ることが世界の常識になる時代「脱炭素社会が来るだろう」と締めくくった。(荒井)

## 地球を守ろう さくらマーチ



4月3日全国一斉にさくらマーチが行われ、鎌倉のさくらマーチに参加しました。

由比ヶ浜公園に13:30集合、記念写真を撮って、各自、桜色のコスチュームやグッズを身につけ、鎌倉八幡宮までパレードしました。子連れの子ママやパパの参加が目立ちました。

道行く観光客からは拍手を送ってくれる場面もあり、楽しいパレードとなりました。

ドイツで貿易商社を営んでいた谷口さん、グレタさんの行動に心を動かされ、「地球を守ろう」と私財を投げ打っ



て日本に帰り「谷口たかひさお話し会」をこれまでに500回を越える講演会を全国で行っています。昨年、11月には藤沢でも「お話し会」が行われまし

た。機会を作り多くの方々と聞くことができればと思います。(宮地)

## 「ふるさと津島」

福島原発事故10年の今年 「ふるさと津島」上映と避難者の証言などをリモートにより参加した。

福島県浪江町の津島地区は国と東電に故郷を奪われたことへの訴訟を起こしている。帰還困難区域であり今は住む人がいない。再開発が始まり解体する前に故郷最後の姿を記録として残しておきたい。のどかな田園 結束した住民の生活を何とか後世に伝えたいと、2020年に作成し記録映画を残すことになった。歴史が刻まれた家ごとに記録されている。

・ここはテレビ番組「DASH村」の現場でもあった。彼岸には墓参りに来て、今は来るたびに線香をあげている。故郷が津島にあったと言い聞かせるために。

・10人で暮らしていた幸せだった家族が住めなくなった。山菜とり、魚とり、夏は川遊び、ホタル飛び交う、秋はキノコ狩りなど楽しかったが、今は家の壁が落ち、床が抜けているが修理の業者もいない。

・誰も住めない家や神社、学校など建物があってこそ伝えられる歴史がある。猿やイノシシなどに荒らされている。

・明治初期に建てられた家、田植え踊りを伝承し他の土地から嫁に来て溶け込んで“ここが故郷”とつながり合った生活ができる風土。

・満州からの引揚者が多く、苦勞してモモやコメ作りで辛くても楽しい毎日だった。今は障子もボロボロ。

・伝統芸能の「三匹獅子舞」は300年の歴史があり秋に神社に奉納するが継承できなくなり道具は地区の集会所へ保存した。

・地域として再生できるか、このまま残しても子どもたちに負担をかけることになるので判断がつかないと言う。

・生活や自然を奪われた悔しさ、何で離れていなければならないのかと夢に現れるという。生活した痕跡を残し、自分が骨になる前にこれからの子や孫へこの物語を送りたいと話している。

上映の後「ふるさとを返せ 津島原発訴訟」原告団長今野秀則さんは、現状回復を申し立てた裁判、原発事故の怖さを訴えて7月に判決が下されるという事でした。「福島原発かながわ訴訟原告団長」村田弘さんの報告もありました。(荒井)



## 感染症の歴史とコロナ禍収束にむけて

今、全世界でまん延しているコロナ禍は、感染者が1億4千万人、死者が313万人(4月28日現在)、日本は、感染者57万人、死者1万人強(同)に上っている。

人間の長い歴史の中で数多くの感染症が発生したが、今回の新型コロナウイルスによる感染症は歴史上最大級の感染症であるということが出来る。

感染症の歴史は生物の出現とその進化の歴史とともにあり、有史以前から近代まで人の疾患の大きな部分を占めてきた。

感染症や疫病に関する記録は、古代メソポタミアやバビロニア、同時期のエジプト、中国にあっても、紀元前13世紀における甲骨文字の刻された考古資料からも疫病を占トする文言が確認されている。日本においては平安時代には疫病の終息を願う神事が全国で行われていた。

近代においても、ヨーロッパにおいて、産業革命の発展の中で、ロンドンやパリなどで結核やコレラやペストなどの感染症の大発生で、大勢の人のいのちが奪われてきた。この様な感染症に対し、歴史的にそれぞれの時代、地域において公衆衛生の徹底や、河川、上下水道の整備、学者による病原菌、治療薬の発見等の様々の闘いを繰り広げ、その撲滅がはかられてきた。

現在、WHOは、コロナパンデミックによる被害を軽減するために次の4点を組み合わせて実施することの必要を呼びかけている。

1. 医療体制(抗ウイルス薬治療をふくむ)
2. ワクチン
3. 公衆衛生対応
4. 個人防衛

日本政府は、昨年から今年にかけて繰り返し非常事態宣言を発してコロナの収束を目指したが収束に至らず、また新たに3度目の非常事態宣言を発した。

WHOの指針に照らし、うまくゆかない日本政府の対応に、どこに問題があるのか。^

現在わが国で行われているコロナ対策は、外出制限、居酒屋等の営業制限等の人と人との接触防止等に重点が置かれ、PCR検査、ワクチン投与等の医学的な対応が遅れているところに問題があると言わなければならない。

(次ページへ)

新しいコロナウイルスが出回っている今、こうした遅れを一刻も早く取り戻し、コロナ禍の収束を早急に実現することが今の政府に求められている。(小林)

### 第3回環境審議会を傍聴して

4月27日、初めて環境審議会の傍聴に行きました。市議会を傍聴すると“環境審議会にて審議します”という発言が頻繁に出るので、良く機能している会議なんだなという印象があり、どのように話し合われているのか気になっていました。

いざ始まると、市が決めたことを報告する場という傾向が強く、委員から意見が出て、市政への反映を期待できるような回答はなかったように思います。

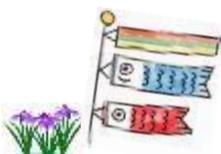
発言をする委員も限られていて、想像していた意見の出し合いはなく、あっけなく終わってしまった感があります。審議時間は1時間15分でした。

今回、環境基本計画が前倒しで改訂されることになりました。これにより“2050年二酸化炭素排出実質ゼロ”が目標として掲げられます。

今回の改訂は、国政の変化、藤沢市での気候非常事態宣言の発令、また社会情勢の変化を鑑みての前倒しでの対応とのことで、このことを受け、私達市民、事業者、行政は気候危機をもっと自覚し、この大転換期を前に一致団結しないといけないと思いました。

国も、各自治体に期待をかけて、動いてほしいと言っています。行政に制度を変えてもらえば市民はついて行きます。里山、海、川と言った自然と都市を併せ持つ藤沢市には強い舵取りを期待します。

(益永由紀)



### 放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 (μSv/h) 地上50cm

4/28 晴 辻堂神台公園 0.036

4/30 晴 市役所分庁舎前 0.066

## ECONET INFORMATION

### ▲2021 核兵器のない平和な世界を願って

5月16日(日)11:00-12:00

辻堂神台公園ステージ 和太鼓 トランペット演奏  
被爆者体験談など (雨天時は辻堂駅北口デッキ)

主催:ピースリレー・ふじさわ

### ▲横須賀石炭火力発電所建設を考える

5月30日(日)10時~11時半

エコストアパパラギ 参加費770円

申込み [fujisawa@eco-papa.com](mailto:fujisawa@eco-papa.com)

☎ 0466-50-0117

### ▲「ふるさと津島」DVD上映

5月31日(月)15:00-16:30

六会公民館第一談話室 参加費300円

主催 福島の子もたちとともに湘南の会  
連絡申込み先 080-5099-4264

### ▲地球温暖化と現代社会

講師 歌川 学さん(産業技術総合研究所主任研究員)

6月6日(日)14:00~16:30

藤沢市民会館第2会議室

主催:湘南学習会議 鎌倉逗子学習会議

協賛:藤沢エコネット 気候危機アクション藤沢

資料代 500円

### ▲藤沢エコネットから

◆藤沢エコネット講演会&総会

「コロナ危機と気候危機」講師:宮地俊作氏

6月13日(日)13:30-総会 15:00-講演

済美館和室(藤沢公民館分室)藤沢本町から5分

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 6月5日(土)10:00~

六会公民館



《編集後記》原発問題が山積み。40年を経た老朽原発3基、高浜1,2号機、美浜3号機の再稼働に、福井県知事が4月28日に同意した。1か所に最大25億円の地域振興交付金が出るというから何をか言わんや。

4月13日政府は福島第1原発の放射性物質を含む処理済汚染水100万トン以上を希釈して海に放出すると決定。地元漁業団体ははじめ多くの国民、また近隣の国々が環境影響を懸念している。(A)